

Julabo Case Study

JULABO PRESTO® W92tt

100 lリアクターの加熱、冷却
-50 °C ~ +100 °C



目的

このケーススタディは、100リットルのガラス製反応器を使用しPRESTO® W92ttの加熱、冷却テストをします。W92ttは2mのメタルチューブを2本使用し反応器に接続しています。W92ttは、-50 °Cと +100 °Cのサイクルするようにプログラムされています。

試験条件

JULABO装置	JULABO PRESTO® W92tt
冷却能力	+20 °C 19.0 kW 0 °C 15.5 kW
加熱能力	+20 °C 9.5 kW 36 kW
帯域制限	70 K
流動圧力	0.33 bar
槽液	JULABO Thermal HL80
リアクター	100 lガラスリアクター (Büchiglas) 充填量100 l、Thermal HL80
制御方法	External (ICC)

周囲環境

周囲温度	+20 °C
湿度	45 %
電源電圧	3 x 400 V / 50 Hz



試験結果

PRESTO®W92ttを使用して、リアクターを-50°C~+100°Cの間で繰り返し加熱および冷却しました。加熱および冷却プロセスを正確に数回繰り返した。

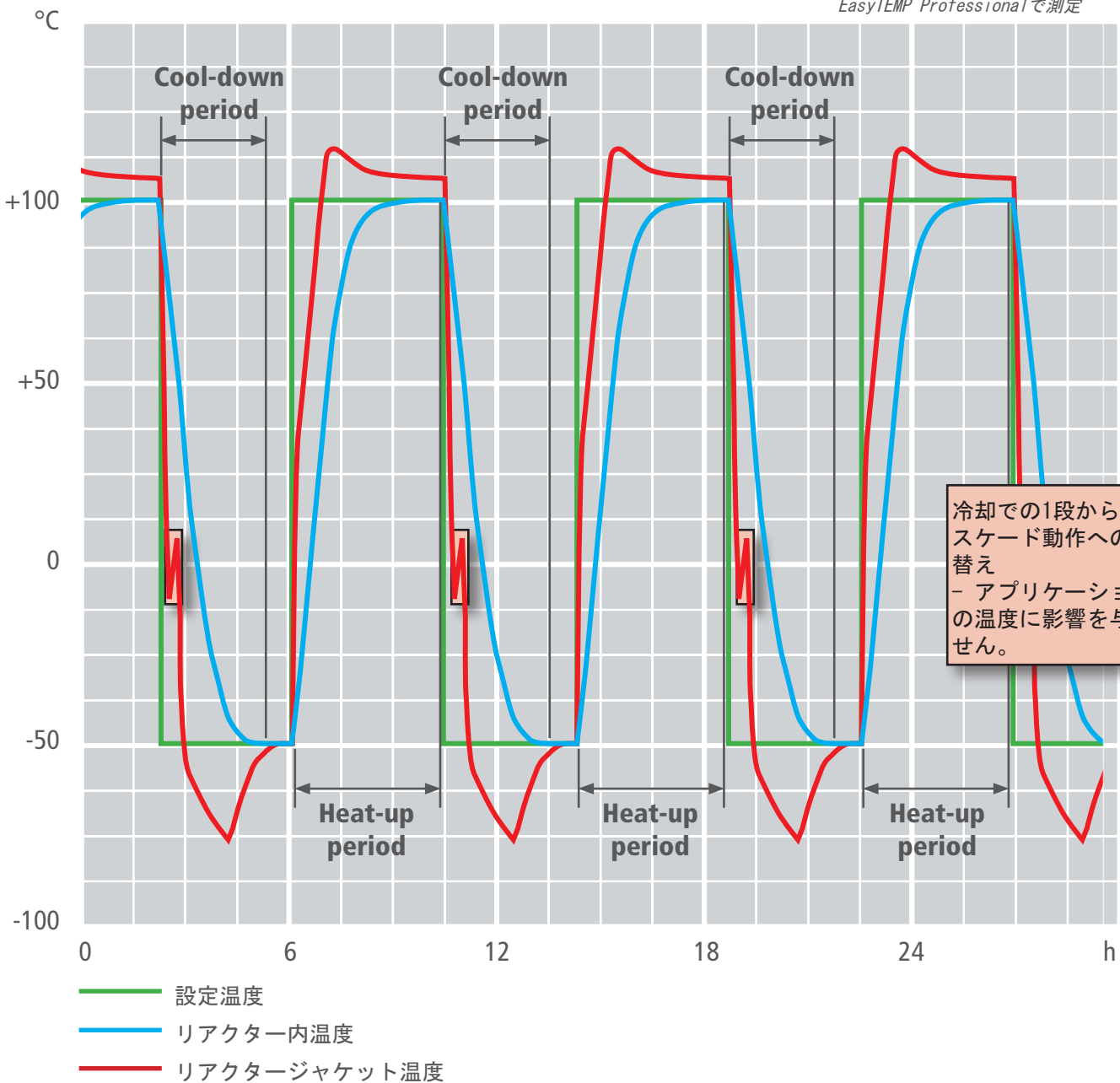
Tip

PTFEコーティングをしたPt100も使用できます。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0

EasyTEMP Professionalで測定



冷却での1段から2段カスケード動作への切り替え
- アプリケーション内の温度に影響を与えません。

Tip

オプションを使用してポンプ圧力を調整してください。
PRESTO®の設定で希望の圧力を定義できます。

**Tip**

イーサネットインターフェースは、PRESTO®のすべての操作機能へのフルアクセスを可能にします。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0